

抜群の団結力と応援を背に、快挙達成

## JA共済学童野球大会で、二ツ井野球スポーツ少年団が初優勝



▲全試合で2桁得点を挙げた自慢の攻撃力で優勝した

JAと全共連秋田県本部が主催し、JA共済の地域貢献活動の一環として行われた、第11回JA共済学童野球大会において、当JA代表の二ツ井野球スポーツ少年団が見事優勝し、全県一の栄冠を勝ち取りました。大会は秋田市のあきたスカイドームをメイン会場に、9月14日と15日の2日間にわたって開催され、県内15JAの代表が熱戦を繰り広げました。当JA代表が同大会で優勝するのは初めてで、最優秀選手には工藤和希君、打撃賞には工藤活君が選ばれました。大会終了後の17日には、堀内監督はじめ選手一同がJAを訪れ、



### ▽1回戦

城南	3	4	0	0	0		7
二ツ井	3	0	5	2	2		12

### ▽2回戦

船越	3	0	0	0	1	0	4
二ツ井	0	1	6	1	0	3	11

### ▽準決勝

二ツ井	4	2	0	1	0	2	2	11
花輪北	0	4	3	2	0	0	0	9

### ▽決勝

森岳	0	1	5	0	0	0	1	7
二ツ井	3	0	0	1	6	2	×	12

優勝報告を行いました。小林義昌常務（金融共済事業本部長）は「全試合とも中盤・終盤で逆転して勝利するという、勝負強さや底力、粘りの精神に感動した。今後ともスポーツを通して、健全な心身を育んでほしい。」と話し、二ツ井野球スポーツ少年団の快挙を誉め称えました。



▲主催者から深紅の優勝旗等を授与される



▲笑顔で優勝報告を行う堀内監督と選手たち

## 管内3地区で、受検組合長会を開催

### 販売力強化を図りながら、全量集荷を目指す



▲能代地区で開催された受検組合長会

平成25年産米の集荷・販売、検査体制などについて協議する受検組合長会が、9月17日に管内3地区で開催されました。このうち能代地区では、はじめに袴田組合長が「作況は『平年並』だが、天候不順により収量は少なめで、単価も昨年の米余り等もあって、厳しい状況となっている。JAでは卸業者と交渉を重ね、組合員により還元できるよう努力する。」と挨拶しました。その後、カントリエレベーターの利用概要や、行政と共に取り組む『JA地域営農ビジョン』について、説明が行われました。

